

街の絵には なにがあるか

Chapter 1



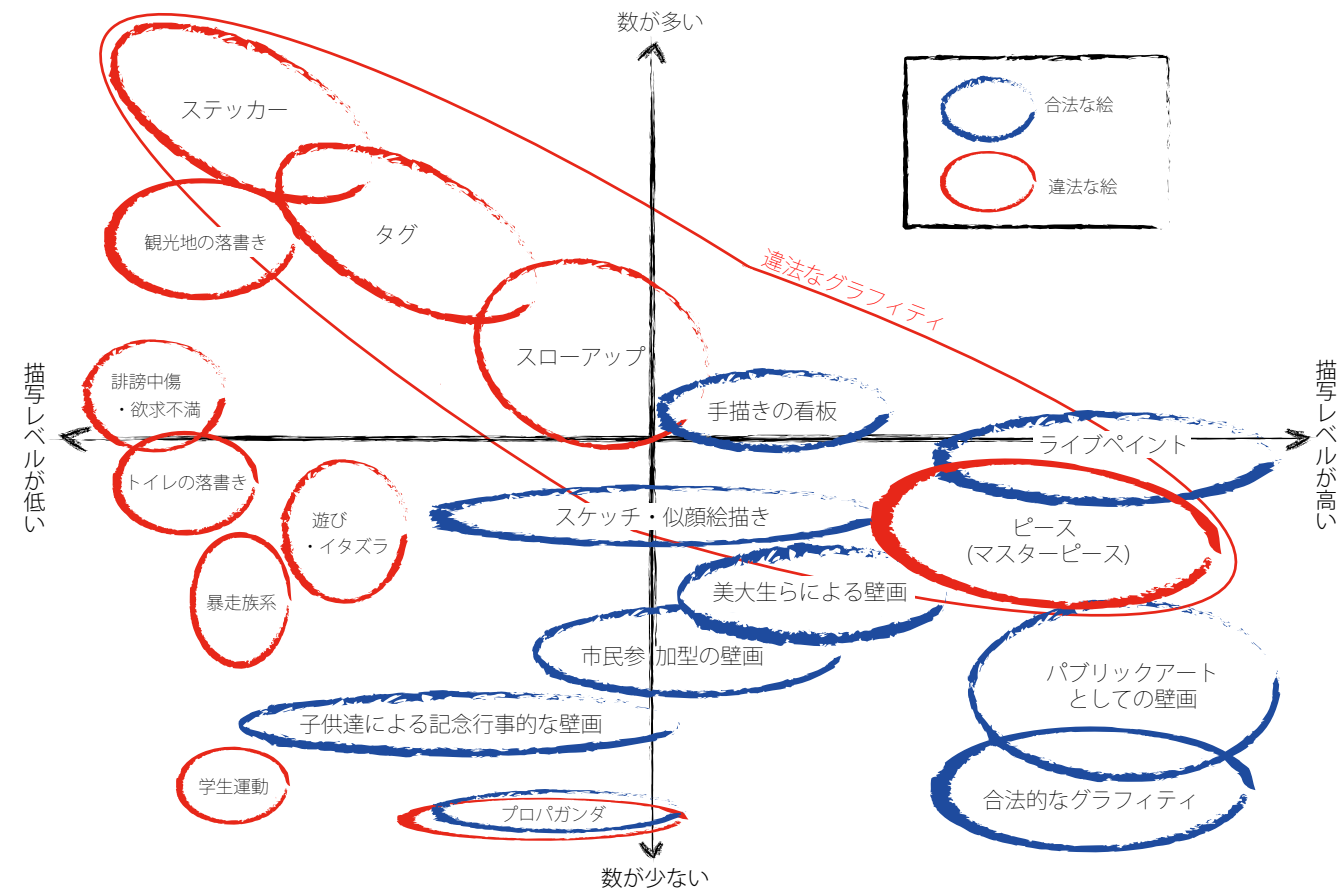
街の絵の種類と分類

ここでは、人の手によって描かれる街の絵にはどのようなものがあるかを分類して紹介する。

右の図は主な絵をグループ化して2軸に布置したものである。横軸は絵の描画レベルの高さを、縦軸は街でみられる数の多さを表している。青色は合法的に描かれた絵を、赤色は違法に描かれた絵を表している。尺度は相対的なものであり、おおよその傾向として見ていただきたい。

描画レベルは、手が込んでいる程度や上手さのことであり、時間をかけた絵や大きな絵ほど右に配置されている。左のものほど、幼い絵や殴り書きのようなもの、短時間で描かれるものや小さいものが配置されている。

当然のことながら、合法的な絵の方が描画レベルは高い傾向にある。全体的に描画レベルが低いものの方が数は多く、街でよく目にすることになる。



参考文献

Cooper, M. & Chalfant, H. : Subway Art, Henry Holt & Company, 1984

Henry C. & Prigoff J. : Spraycan Art., Thames & Hudson Inc., 1987

能勢理子：ニューヨーク・グラフィティ、グラフィック社、2000.7

能勢理子：ニューヨーク・グラフィティ　ネクストステージ、グラフィック社、2006.7

Kelling, G.L., & Coles, C.M. : Fixing Broken Windows: Restoring Order and Reducing Crime in Our Communities, New York: The Free Press, 1996

Murray, J. & Murray, K. : Broken Windows : Burning New York, Gingko Press, 2002

Poyner, B. (小出治、清水賢二、佐々木真郎、高杉文子訳)：デザインは犯罪を防ぐー犯罪防止のための環境設計ー (財) 都市防犯研究センター、1991

特集グラフィティ　マルチチュードの表現、現代思想 ,pp.22-53, 青土社、2003.10

デザイン・グラフィックアートの世界線、Studio Voice, vol.306, pp.20-65, 2001.6

拡張するグラフィティ、Studio Voice, vol.360, pp.22-53, 2005.12

グラフィティの未来系、Studio Voice, vol.314, pp.16-57, 2002.2

吉見俊哉・北田暁大編：路上のエスノグラフィ　ちんどん屋からグラフィティまで、せりか書房、2007.4

末永昭和監修：20 世紀の美術、美術出版社、2000.6

長澤均+パピエ・コレ編：Scratch on the wall, ブルースインターアクションズ、2007.7

関連発表論文

小林茂雄：落書き防止対策としての壁画制作に関する研究、日本建築学会環境系論文集、No.609、pp.93-99、2006.11

小林茂雄：都市における落書きと周辺環境との適合性に関する研究　落書きが周辺環境に対して持つ否定的側面と肯定的側面、

日本建築学会環境系論文集、No.566、pp.95-101、2003.4

小林茂雄：都市の街路に描かれる落書きの分布と特徴ー渋谷駅周辺の建物シャッターに対する落書き被害からー、

日本建築学会計画系論文集、No.560、pp.59-64、2002.10

小林茂雄：落書きはアートなのか!?　現代落書き学入門、m9 (エムキュー) Vol.3、pp.154-161、晋遊舎、2008.8

謝辞

本書を制作するにあたり、たくさんの方にお力添えしていただきました。

まず、能勢理子さんには、全体の構成からグラフィティの内容について、何度も長時間相談にのっていただきました。進行をいつもあたたかく見守っていただき、グラフィティに対する私たちの捉え方を整理していただきました。

インタビューにご協力していただいた、浅井裕介さん、TOCHKA のモノノカヅエさんとナガタタケシさん、LOOTone さん、Shiro さん、HITOTZUKI の sasu さんと kami さん、吉田圀吉さん、山口拓さん、KOMPOSITION の寺井元一さんと佐藤慎さん、関西ペイントさんと落書き 110 番さんには、貴重なお話をたくさん聞かせていただきました。全てを本書に反映させるということはできませんでしたが、深く感謝申し上げます。

路地裏美術館「Web 餓鬼の眼」の糜爛鳥さんには、グラフィティの用語や歴史に関して情報を提供してくださいました。最終的には、私たちの責任で大きく加筆していきましたが、貴重な情報をいただきましたことに感謝申し上げます。

2000 年から小林研究室において落書き問題の研究をされてきた、石川拓也さん、大沢篤さん、小口尚子さん、金井健一さん、神尾勇太さん、荘司景子さんには、本書の基礎を築いていただきました。また東京都市大学建築学科の皆様には、たくさんの方の写真を提供していただきました。

西邑桃代さんとは落書き消去と壁画制作を共に行ってきました。東京都市大学教授の西村功さんと理工図書の編集部の方々には、出版を後押していただきました。ほかにも多くの方々にお世話になりましたが、一部の方々のお名前しか記せないことをお許しください。

2009 年 4 月　小林研究室

著者略歴

小林茂雄（こばやししげお）

1968 年神戸生まれ。東京工業大学工学部建築学科卒業。現在、東京都市大学（旧武蔵工業大学）工学部建築学科准教授。博士（工学）。専門は環境心理学。著書に「空間デザインのための照明手法」など。2008 年照明学会照明デザイン奨励賞受賞。光や色彩によって街を豊かにしていく手法について研究している。

今井香織（いまいかおり）

1987 年生まれ。東京出身。武蔵工業大学工学部建築学科卒業。主に 4 章とインタビューを担当。

白井洋平（しらいようへい）

1986 年生まれ。東京出身。武蔵工業大学工学部建築学科卒業。主に 1 章の歴史と分類、各章写真ページを担当。

山上史泰（やまがみふみひろ）

1985 年生まれ。青森県出身。道都大学美術学部建築学科卒業。現在、東京都市大学大学院に在学中。主に 1 章の用語を担当。

吉田麻友子（よしだまゆこ）

1987 年生まれ。横浜出身。武蔵工業大学工学部建築学科卒業。現在、東京工業大学大学院に在学中。主に 3 章を担当。

田中省吾（たなかしょうご）

1986 年生まれ。神奈川出身。武蔵工業大学工学部建築学科卒業。主に 2 章を担当。